

ハクセンシオマネキのハクセンは白扇で、白いハサミに由来します。シオマネキ類の雄は左右どちらかのハサミが巨大化します。雌のハサミは巨大化しません。大きなハサミを上下する雄の行動は雌に対する誇示行動とされています。セックスアピールというところでしょう。



1 ページと同一個体。

望潮も潮招（き）です。英語では beckoning crab とか calling crab とも言いますが、fiddler crab（蟹のバイオリン弾き）が一般的のようです。[beckon：招き寄せる，手招きする] [fiddle：ビオール属の弦楽器]

## 望潮大和島根は陽炎へる

長谷川 權

(<http://www.sit.ac.user/kahokuso/> より引用)

潮招は春の季語。自然の荒廃，環境の一様化は人間の感性を大きく鈍らせるように作用していると考えます。だからこそ，次世代に残す環境が大切なのです。

2004年5月26日発行 発行者：町田吉彦（理学博士，高知大学理学部教授，  
四国自然史科学研究センターセンター長）

本書の内容の無断複製を禁止します。複製ならびに内容についての問い合わせは FAX 088-844-8310（町田研究室直通）をお願いします。